



平成30年度予算紹介

未来につなぐ まちづくり予算



平成30年度予算は、人口減少への対応や未来への投資を図るため、「未来につなぐまちづくり予算」として編成しました。その中でも、「豊橋型子育て支援」「子どもたちの学習環境充実」「若者の定住促進と地域産業の振興」「女性が輝くまちづくり推進」を重点的な取り組みに位置づけています。

今回は、新たな取り組みなど8つの一押し事業を紹介します。

問合せ：財政課(☎51・2117)

豊橋型子育て支援

▶ 産婦健康診査、産後ケア事業の開始

退院後間もない産婦の健康状態を確認する「産婦健康診査」や、産婦人科などで宿泊型・デイサービス型による「産後ケア事業」を開始し、出産後早期からの支援の充実を図ります。



こども保健課
助産師 伊藤 僚子



▶ チャイルドサポートプランの開始

こども未来館や各地域子育て支援センターで、子どもの成長に合わせた子育て支援サービスなどを提供するチャイルドサポートプランを作成し、子育て支援のさらなる充実を図ります。



▶ 子どもの輝く未来への応援

学生服などのリユース事業への助成や子ども食堂と学習支援を行う居場所づくりなど、経済的に困難を抱える子どもたちの生活を地域全体でサポートする仕組みを作ります。



平成30年度予算規模

2,529億1,152万6千円

(前年度比92.5%)

※国の平成29年度補正予算
に関連する平成29・30年
度補正予算を含む

下水道事業
155億9,600万円
(6.2%・94.1%)

水道事業
92億2,600万円
(3.6%・101.6%)

競輪事業
157億4,000万円
(6.2%・123.9%)

企業会計
602億3,700万円
(23.8%・100.5%)

病院事業
354億1,500万円
(14.0%・103.4%)

全会計
2,529億
1,152万
6千円

一般会計
1,313億52万6千円
(51.9%・103.9%)

特別会計
613億7,400万円
(24.3%・70.4%)

国民健康保険事業
339億9,200万円
(13.4%・84.3%)

後期高齢者医療
82億5,100万円
(3.3%・104.9%)

地域下水道事業
12億8,300万円
(0.5%・112.2%)

母子父子寡婦福祉
資金貸付事業
1,200万円
(-・100.0%)

総合動植物公園事業
18億9,400万円
(0.7%・90.2%)

公共駐車場事業
2億200万円
(0.1%・100.0%)

※各項目は表示単位未満を四捨五入で処理しているため、合計と内訳の数値が一致しない場合あり。()内は構成比・前年度比

若者の定住促進と
地域産業の振興

▶ 希望が持てる
持続可能な豊橋農業の推進

IoT・AIなどを活用した先端技術の導入を促進するとともに、農地の大区画化や豊橋産農産物のブランド化を推進し、農業の生産性をさらに高めます。

▶ 奨学金返還支援補助金の創設

大学などを卒業後、地元中小企業に就職し市内に居住した若者を対象に、市と企業が一体となって奨学金返還費用の一部を助成します(月額15,000円※最大3年間で540,000円)。



子どもたちの学習環境充実

▶ 学力・体力向上の推進

小規模小学校での合同授業や小・中学校へのスポーツトレーナー派遣など、授業の質を高める新たな取り組みを開始し、子どもたちの「確かな学力」や「健やかな心と体」を育てます。

▶ 外国人生徒や不登校児童・生徒への支援の充実

来日直後の外国人生徒への生活適応支援や日本語指導を行う「初期支援校」を新設するとともに、不登校児童・生徒の学校復帰支援を行う「とよはしほっとプラザ(旧麦笛ひろば)」を増設します。

きめ細やかな支援をしています



学校教育課
ウガモト ヨナシロ デミ

女性が輝くまちづくり推進

▶ 女性が輝くまちづくりの発信

女性の再就職や企業の雇用環境の整備を支援し、女性が働き暮らしたいまちづくりを進めるほか、移住体験ツアーの開催や市民を題材にした動画の配信などにより、まちの魅力を発信します。

